

条幅部自由参考

3月25日正午必着

明石春浦先生書



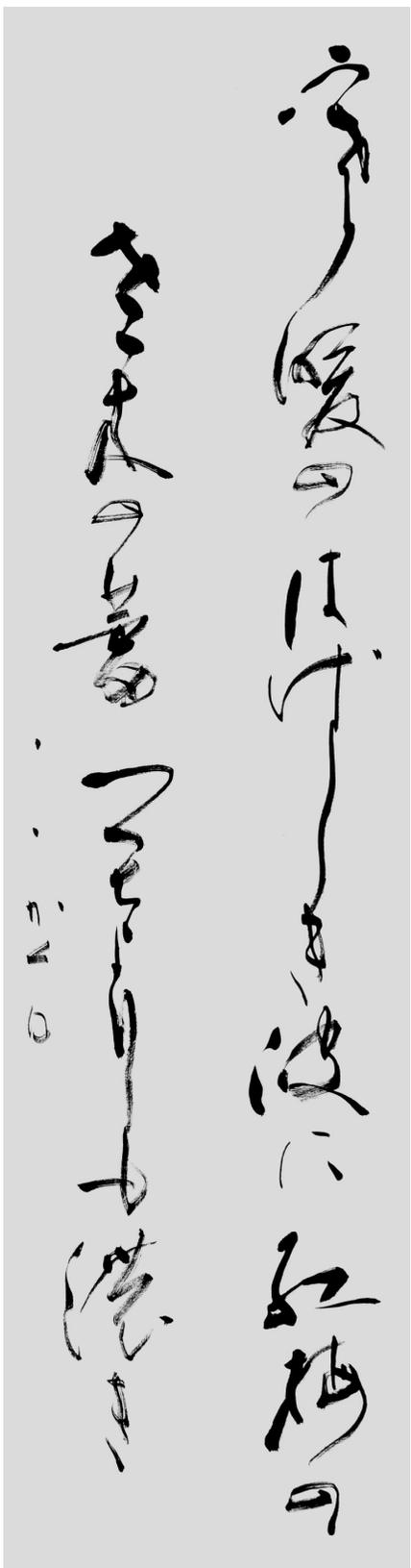
雪罷枝即青

冰開水便綠

復聞黃鳥聲

全作相思曲 (王僧孺)

明石幸子書



寒暖のはげしき波に 紅梅の老木の蕾花よりも濃き (窪田章一郎)

三浦士岳先生書



山瓶水冷龍藏石鼎茶香鶴避烟(郭登) 山居の興である。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

萬象含佳氣 (劉禹錫)

萬象佳氣を含む

春雨のあとの春景色

春苑月徘徊 竹堂侵夜開
驚鳥排林度 風花隔水來

(虞世南)

春苑月徘徊、竹堂を侵して夜開く。
驚鳥は月の出に驚いて飛び立った鳥。

春の夜の景について述べたものである。

聞笛

(戎昱)

笛を聞く 戎昱

入夜思歸切 笛聲寒更哀
愁人不願聽 自到枕邊來
風起塞雲斷 夜深關月開
平明獨惆悵 落盡一庭梅

夜に入りて 笛を思ふこと切なり 笛聲 寒くして更に哀しむ
愁人 聴くことを願わざるに 自ら枕邊に到り来る
風起つて 塞雲断え 夜深けて 関月開く
平明 独り惆悵す 落ち尽くす 一庭の梅

白梅の老木のかげのくつきりと動かぬ芝にたんぽぽ咲けり (若山 牧水)

半紙部規定課題A

3月25日正午必着

雲 緋
銷 河
出

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

3月25日正午必着

行書

雲銷出
絳河

隸書

雲銷出
絳河

明石春浦先生書

草書

雲銷出
絳河

行草書

雲銷出
絳河

建礼門のほとり、さわやかな秋の夜 承明廬に夜明けを待ちつつ過す
九重の門の奥にひやかな漏刻の音も尽き 市街の処々より、暁の鐘があまた鳴り響く
月の光ははるかに、真珠のような星をおおいかくし 雲は消え去って、天の川があらわれる
いまさらながら慚ずかしく思う、この老い衰えた身を以て 南の街路に、貴方と玉飾りを鳴らしつつ駒を並べて行くのが

與崔員外秋直

王維

建禮 高秋夜

承明 候曉過

九門 寒漏徹

萬井 曙鐘多

月迴 藏珠斗

雲銷 出絳河

更慚 衰朽質

南陌 共鳴珂

崔員外と秋に直す

王維

建礼 高秋の夜

承明に 暁を候ちて過ぐ

九門 寒漏徹し

萬井 曙鐘多し

月迴かにして 珠斗を蔵し

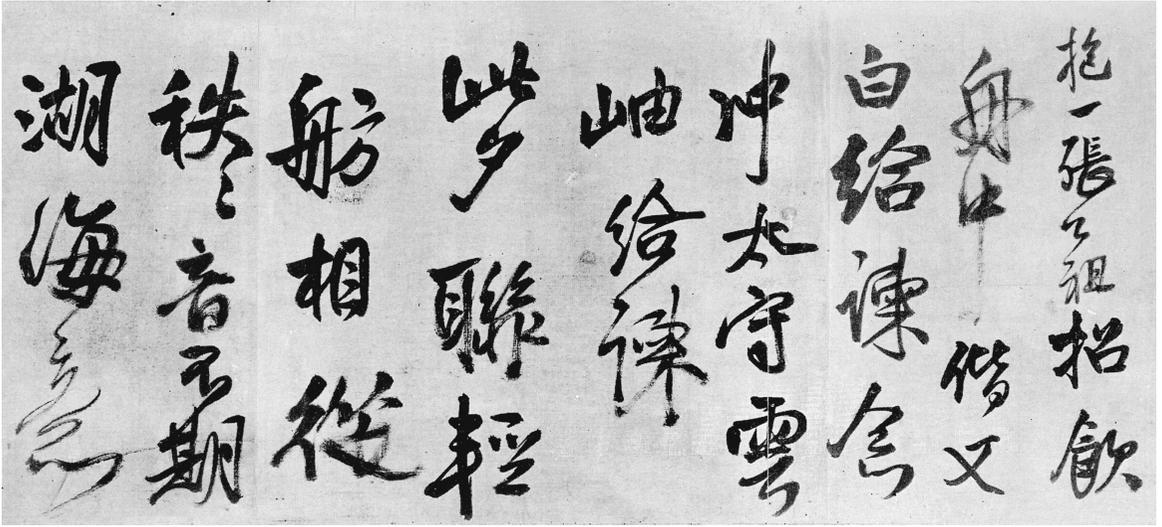
雲銷えて 絳河出す

更に慚ず 衰朽の質の
南陌に 共に珂を鳴らすことを

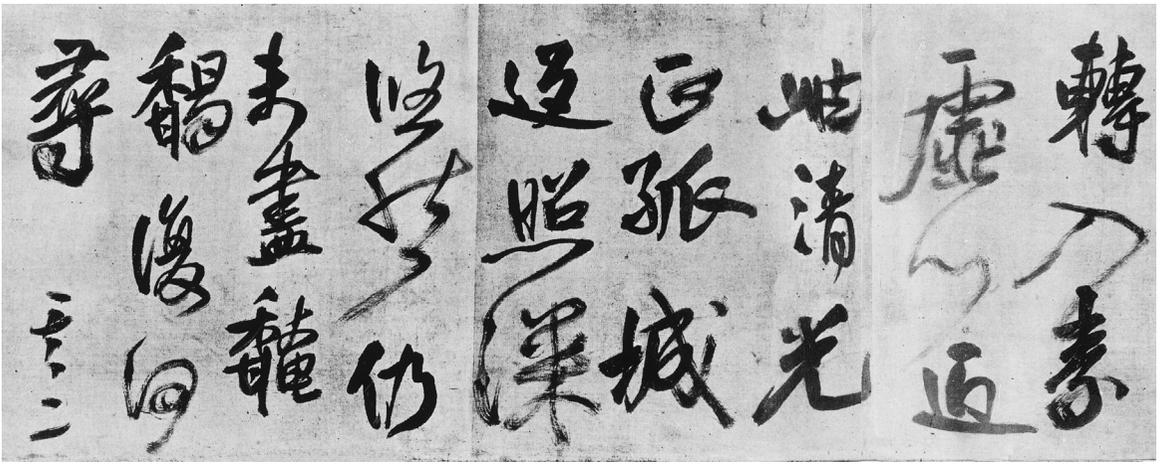
朝日新聞社刊

「三体詩」下より

條幅部半紙部臨書課題



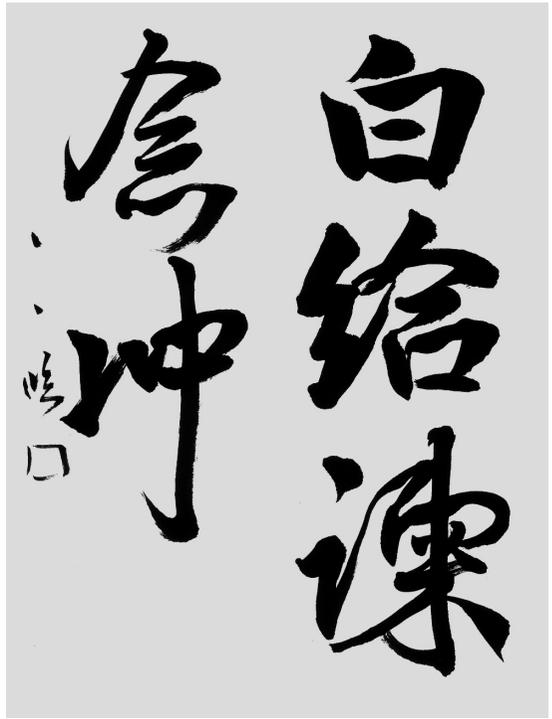
抱一張公祖招飲
 舟中借又白
 給諫念冲太守
 岫給諫
 此夕聯輕舫相
 從秩秩音不期
 湖海意



轉入素虛心。近岫
 清光正。孤城返照
 深。悠然仍未盡
 醜。醜復何。尋
 其二



招_ニ飲_ス舟_中。借_ニ又_ニ白_ニ給_ス諫_ト。
念_ニ冲_ニ太_守。雲_岫給_ス諫_ト。



白給諫・念冲

明末清初 王鐸・行書詩卷

王鐸は明の萬曆二〇年（一五九二）河南省孟津に生まれる。明朝末期の天啓二年（一六二二）に進士となり、明が滅亡した後は清朝に仕え、「明史」編纂の副總裁などをつとめた。順治九年（一六五二）礼部尚書となったが、その年の三月病のために郷里で没した。字は覺斯（または覺之とも書いた）。号は高樵、癡庵、五岳道人など数多い。明朝の遺臣でありながら清朝に降ったことによって節義に欠ける者として白眼視されたが、彼のような唯美の世界に耽溺した人間としては、そうしたことにこだわらず自由な行動をとったのではないかといわれている。

明末から清初にかけては政治的にも社会的または民族的にも混沌とした時代で、書壇においても革新的な傾向におもむきつつある時期であった。そして、そうした中から董其昌や王鐸らを中核として伝統的な書道からはなれ、新しい理念に基づく書の美しさを求めようとする風潮が生まれた。

王鐸は詩文書画をよくしたが、なかでも書は特に名高く、二王を中心に晋唐の古法帖の臨書に終生心血を注ぎながら、彼独自の自由闊達な連綿行草の世界を作りあげていった。この行書詩卷は所々に草書も混じっているが、あくまでも逞しい骨格に、鋒先の先まで力がこもり、少しのよどみもない奔放な運筆は見事というほかはない。（春濤）



じゅく
熟
ご
語

中学一年

雨宮春聲先生書



き
軌
せき
跡

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



こう
校

てい
庭

小学五年

榎戸春龍先生書



じゅん
純

しん
真

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着



こ
高
げん
原

小学三年

藤田幸春先生書



し
四
き
季

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

う め 小学一年・幼年



森戸春濤書

か花 ほく木 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

なだれの兆候がある
ので登山はきん止だ

小学五年

樹海に迷いこむと二度
と出られないそうだ

小学六年

育てることが大切で
生涯変わらぬ友情を

中学

春めく土の香草木の芽
はえ山の緑がよみがえる

一般(級位)

朝日影にほゆる山の桜を
れなく消えぬ雪かきそえる

朝日影にほゆる山の桜花 つれなく消えぬ雪かきそえる (藤原有家)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ま	あ
ぶ	さ
し	を
い	し
ひ	ら
か	せ
り	る

幼年

よ	ま
に	い
え	に
さ	ち
を	
や	金
る	ぎ

小学一年

て	ぼ
遠	う
く	え
を	ん
見	き
る	よ
	う

小学二年

わ	先
ら	生
い	の
転	は
げ	な
た	し
	に

小学三年

当	ふ
て	とん
て	を
殺	日
き	光
ん	によ
す	く
る	

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

